

日能研労働組合ファックスニュース

一人はみんなのため、みんなは一人のために

<2009/06/10>

■発行 ■日能研労働組合
〒650-0025 神戸市中央区相生町 4-4-6
TEL・FAX (078) 371-2991
<http://www.nichinouken-union.com/>
email: info@nichinouken-union.com

6月9日団体交渉報告

社員の怒り爆発

運営7名、教務7名、講師・契約社員5名の合計19名参加

○会社は説明責任を果たさず！○

組合が要求しているKNSの財務状況や取締役・部長の所得について、会社は何も明らかにせず、あろうことか、昨年と今年の夏季賞与の期間満了者141名の総額で13.5%減と説明しました。私たちが求めているものは、計算の仕方では割合が減って見えるかどうかではなく、社員の賃下げの前に、経営陣がどんな責任を取ったのかという説明です。私たちは13.5%の計算に用いた数字つまり経営陣と一般社員の総額がどうなっているかを示すように求めたところ、会社側の持ち帰りとなりました。代表は全社員集会でも、今回の大幅減額に対して、一言もふれていません。このことに、代表は無責任過ぎると怒りの声が上がりました。

○合理化努力に疑問！○

会社側は「口い頭を○くする」の阪急を除いた廃止、「駅の看板」の大部分を廃止、セコムの解約、日能研新聞の隔月化、社用車リースの解約で今期と来期にわたり、約5000万円の削減をすると説明しました。生徒獲得につながる広告宣伝費をカットしたり、顧客サービスを低下させたりするような方策でいいのでしょうか？役員報酬の削減、代表用の自動車の廃止など、他に削減すべきものがあると思います。これでは経営陣の利益確保のために、会社経営を犠牲にしていると考えられます。

○「評価表」過去3年分を全社員に渡すことを確約させました！○

参加者から過去に「評価表」をもらっていないと疑問が上げられ、その場で毎回もらっているという人に手をあげてもらったところほんの一部でした。この会社の労働者軽視の現れです。過去3年間にわたり、全社員に「評価表」を渡すことを約束させました。

○契約社員の雇用条件不利益変更をただす！○

TCSから日能研への移行に関して、会社は組合との交渉で「不利益変更」を行わないと明言していました。しかしながら、契約社員の年2回10万円の賞与について、これを「時間外手当の前払い」に組み込み、その上、保護者会などの手当てを廃止する契約をさせました。これを組合では問題視し、会社と交渉を重ねてきましたが、保護者会の手当ては支払うと譲歩しましたが、20万円の時間外手当への組み込みの撤回を拒否していました。社員講師の団結した怒りの糾弾にさらされた会社側は、改めて「不利益変更」を是正することを約束しました。また、この件はTCSから移行した契約社員にも適用することも明言させました。

○アンケート回収進む。まだの方は、ご協力ください。○

6月8日全社員集会の前に配りました職員アンケートは、当日から集まっています。会社に私たちの声を伝えるためにも、ぜひより多くの協力が必要です。最寄りの組合員に手渡してください。